

宿題するよ、つやまっ子！

げんぼくんの家庭学習



1 なぜ家庭学習は大切？

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身につけるとともに、自ら学ぶ学習習慣を身につけるために、とても大切なものです。小学校のうちから学習習慣をしっかりと身につけさせましょう！

2 家庭学習は宿題が基本

宿題 + α + 次の日の準備

CHECK!

- まずは、学校からの「宿題」をしましょう。
 - ゆとりがあれば、プラス α （自主学習・読書等）にチャレンジしましょう。
 - 勉強が終わったら、次の日の準備をしましょう。
- ※学校からの連絡物や提出物がないか、いっしょに確認してやることも大切です。

「宿題」は、学校で学習した基礎・基本をしっかり理解して、確実に身につけるために大切な学習です。
「宿題」は必ずするように！



3 保護者としてのサポート 1. 2. 3! ~ あなたの家庭はだいじょうぶ? ~

1 家庭学習の様子をみましょう!

CHECK!

- 毎日、宿題をきちんとしていますか？
- 机の上をかたづけられていますか？
- 勉強をする時には、テレビ・ゲームは消していますか？

2 家庭学習をしやすくしましょう!

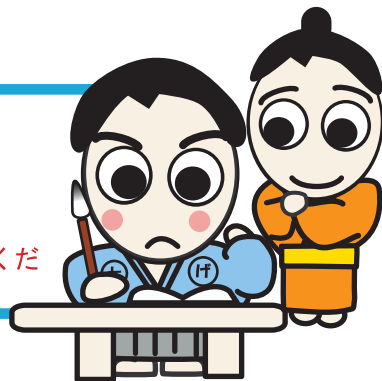
CHECK!

- 勉強する場所を決めてやっていますか？
- 勉強しているとき、家族はテレビを消したり、音を小さくしたりしていますか？

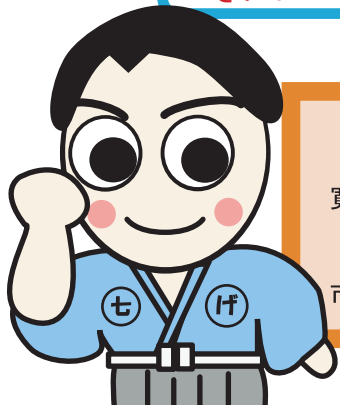
3 家庭学習への意欲づけをしましょう!

CHECK!

- 子どもが宿題をやっているか、目を通していますか？
 - 子どものやる気を引き出すためにも、ほめたり励ましたりしていますか？
- ※やらないことを叱るよりも、頑張ったことをほめてあげてください!



きれいな字で書けてるわね!
いい姿勢でできてるわね!
自分の力で勉強できたわね!



【げんぼくんについて】
日本最初の医学雑誌を翻訳する等、幕末に活躍した津山藩出身の代表的な蘭学者、箕作阮甫は、寛政11年（1799年）9月7日に美作国西新町（現在の津山市西新町）に生まれました。
そして、阮甫の子孫には有名な学者が多数輩出されています。
津山市教育委員会では、この郷土の偉人 箕作阮甫をキャラクター化した「げんぼくん」を津山市の子どもの学力向上のシンボルとして定め、登場させました。